

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム おもやい

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 10 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践	現在利用者の安全を考慮し、一か所の玄関は鍵をかけているが、鍵をかけることの弊害を考え、職員の見守りや、気配りで解決していく。	身体拘束マニュアルや虐待防止マニュアルを揃え、何気ない言葉が利用者を傷つけていないか、常に職員同士で確認し合う。施錠について、職員同士話し合っただけでいい。	12ヶ月
2	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	入居時、利用者や家族に重度化や終末期に向けた方針を、説明しているが、承諾書はとっていないので、契約時に利用者や家族の承諾をもらうようにしていく。	重度化や終末期にホームで出来ること、出来ないことを明示し、利用者や家族に理解してもらい、関係者全員が、方針や利用者の状態を共有して、安心して暮らせる体制を作る。	12ヶ月
3	37	災害対策	年2回防災訓練を、併設施設の協力を得て、実施している。近隣に住民がいないので、避難訓練の参加が今後の課題である。	地域の方が委員として参加されているので、運営推進会議時に、協力してもらい、避難訓練を実施したり、災害時の非常食や飲料水の備蓄をしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。